

絵 = 鏡

アートで人間性を育む

油絵×心像画家

中西 宇仁



“感性と向き合い、その先にある本質を見つけ出すこと”

1987年、東京都調布市で誕生しました。
幼少より工作が好きで成人してから色鉛筆やパステルで遊ぶも本格化して始めたいと思い20代半ばから油絵に挑戦。
美術学校などには通わず独学です。10年程描き続けています。

形、音、譜、歴史など人から人に伝わり残る存在には、“込められた想い”があります。
人に伝わる気持ちや想いを大事にしたい。
自分の生き方と紐付けながら込められた想いを“形、ではなくカタチ”で表現しています。
あと、お酒が好きです。特に日本酒・・・

絵画とはその人の写し鏡だと考えています。

アートは感覚といった偏った世界だと思われませんが逆で物事の本質を見据えた現実でもあり非現実、
言い換えれば哲学(本質)に近い。面白く悩ましいそんな感覚を抱いています。

⇒人生=絵、絵=人生

【関連サイト】
・個人専用HP



<https://takanaka-art.com/>

過去～現在・・・そして未来

今まで公募展や展示会 など高額な費用をかけ絵を出展してきましたがそれだと受け身で何もしていないのと同じだと感じました。

HPを自作でWEBスクールに参加した経験を踏まえ成し遂げたい目標へ歩んでいる途中です。

この先、画家として独立をしたいのはもちろんですがアトリエを作りアートを通じて人間性を育めるような活動をしたいと考えています。

自己肯定感の不足、生きていく中でオリジナリティを見出せず苦悩する、等社会生活に障壁を抱えている人達は年々増加しています。

アートはただの飾りではなく人間を励ましたり元気つけてくれたりする言葉なきパートナーだけではなく自身と対話し社会が定義した価値ではなく自分にしか生み出せない価値観を育み生み出せる分野だと体感しております。

アートには、人間性(自律性)を育める可能性があり新たな”カタチ”を生み出していきたいと思っております。

体調不良により一時活動が低迷し、自分を見失う時期がありましたがアートを通じて復活を遂げ改めて画家活動を再開し、更なる飛躍に繋げていきたいです。

画家としての生立ち

10年以上油絵を独学で描き続けています。

描き始めの頃は、面白そうだからという理由でモチーフを選び“好きだから”という気持ちで描いていました。描き始めて2年経つ頃でしょうか、描いていてもいつもと違う感覚になりました。

その感覚とは、「なんで絵を描いているんだろう・・・」

描き始めてから3年経過し、新たな取り組みとしてグループ展(初展示)に参加しました。その後もアートイベントに参加するなど展示活動を広げていきましたがそれでも満たされないものがありました。それと同時に美術館やギャラリーで他の作品を観ているとイライラしたような嫉妬を抱くことさえありました。

“自分に足りないものはなんだろう・・・”

と考えるようになり絵を観て歩き振り返る日々を送っておりましたが考えても光が見えず絵を描く事を辞めようかとさえ思った事もあります。今まで好きだった絵描きが楽しめなくなり生きがいが無くなった感覚に陥りました。

まるで足元が崩れ落ち深い穴に落ちるような絶望感に。

その状態からある画家の作品を観る機会がありました。その絵を観た瞬間に“こういう方向で良いんだ”と直感的に感じました(日本家屋の絵を描いている画家で「信念」を感じた)

その体感を得てから自分に足りないのは方向性、つまり“世界観”だという事に気づきました。

今も自分の表現に満足することはなく自己を見つめる日々ですがこの苦しみは、“変化の前兆”だと思っています。

そして、次のステージは画家として確立できるようになること。

画家として、同じように苦しんでいる人たちへの手助け、またアートを通じて悩んでいる人たちに生きる意味見いだせられるような活動をしていきたいです。

経歴

▼経歴

2019年11月/群衆公募作品 入選・準会員推挙

2020年6月/新時代日仏至宝芸術大賞受賞(ジャン・ミッシェル氏、五百崎智子氏ご推挙)

同月 合同会社日本文藝アートコンペティション第1回入選

2020年8月/日蘭芸術家交流大賞受賞(ポールフロートよりご推挙)

2020年9月/美術評論家 ポール・フロート氏/長谷川 栄氏からご推挙により2021年3月の出展決定

2020年11月/美術評論家 長谷川 栄氏からご推挙により2021年3月の出展決定と日本新鋭アーティスト大賞受賞

▼展覧会アートスペース)

2015年/グループ展(下北アートスペース)

2016年/デザインフェスタ出展

2019年/初個展(花札の想いをカタチに展)

2020年5月18日~30日/創英ギャラリー「春の選抜展」

2020年7月22日~24日/合同会社日本文藝主催 文春ギャラリー「合同会社日本文藝主催 現代作家によるサムホールの世界」

2020年8月7日~9日/合同会社日本文藝主催:ギャラリーくぼた「平和芸術展」

2020年10月09日~18日/Yao Alternative Space「CROSS OVER Vol.25 In 台湾」

2020年12月8日~13日/(株)アートクロス様より

日仏友好オリジナル切手展 in パリ ~切手誕生180周年記念~

場所:Galerie Planète Rouge(海外ギャラリー プラネット ルージュ)

2021年1月18日~24日/(株)アルファネオ様より

第10回記念新春・現代作家小品展2021 AN MUSEUM IX

2021年3月10日~14日/(株)アルファネオ様より

第9回アート・アズ・アート芸術の祭典IN仙台(東日本大震災復興支援企画)

2021年3月10日(水)~13日(土)/合同会社日本文藝主催:BUNGEI Art Life Museum 2021

2021年3月20日~24日/(株)アートクロス主催 0美術館 長谷川 栄監修「第3回未来へ届けアートの光展」

2021年7月15日~18日/(株)アートクロス様より

レンブラント生誕415年 ポールフロートが選ぶ芸術家100選日蘭芸術家交流展

後援:オランダ王国大使館 協賛 Storefront

場所:Ruime Showroom In Het Centrum

等

●実績

- ・夏季デザインフェスタで絵画をポストカード・マグネット・ストラップ等に商品化・販売
- ・モロッコカゴ教師様より看板作成の依頼を受注。
- ・その他、複数作品販売

作品

【導（しるべ）】



現地の声を聞きたいところてずか記事や動画などを見てテーマを決めました

迫ってくる波は生き物のようになり大きくなり悲鳴や声かけてか混ざり衝撃でした。
メテオには取り上げられていない姿も、、、

復興の刻み、遺族、行方不明者を聴いてとう表すか迷いました
迷って行き着いたとしても現地の人達の気持ちを分かることはできません。

むしろわかれてたまるかと自分か逆の立場ならそう思う

現地の人達の癒し、などおこるのは失礼だと思いました。

行き着いた先は“自分なら救われたい”

私か災害で不慮な死を迎えたら残った人達には前を向いてほしい

残された人の気持ちは暗く苦しいか歩めは実か成り開かれた先には花開く

そんな姿を見た魂は、救われたいと。

サイズ:F30(910×72.7)

価格:60万5千円

東日本大震災復興支援企画出展作品

【受愛】 共通テーマ [赤い薔薇]B



赤い薔薇の花言葉は、愛・美・熱烈な恋

想う心は人を守る

支え支えられる関係には、気持ちを授け受け取る

受け取る者は心が弾み内から溢れる想いが生まれ
また別の者へと心を分けまた新たな芽が芽吹き
広がっていく

暗い中に唯一の花を咲かせ領域を照らし広がる

サイズ:F6(410×318)

価格:5万5千



【ジェントルマン】

共通テーマ [赤い薔薇]A

赤い薔薇の花言葉は、愛・美・熱烈な恋

その人に恋焦がれるとその人しか映らない
周りがかすみその存在だけが輝いて見える
同じ花は何処にでもあるが特別な姿がそそり立つ
カッコ良い存在がそこにある

サイズ:F6(410×318)

価格:4万6千

作品

【循環と再誕】

蓮の花には蓮華の五徳という極楽浄土への教えがありそれをテーマに描きました

五徳

- 1 淤泥不染の徳 (おでいふせんのとく)
- 2 一茎一花の徳 (いっけいっかのとく)
- 3 花果同時の徳 (かかどうじのとく)
- 4 一花多果の徳 (いっかたかのとく)
- 5 中虚外直の徳 (ちゅうこげちよくのとく)

細かい内容は見ずに五徳の題からイメージしました。

茎は魂の通り道で蓮の花を通して魂は黄泉へ誘われる。
魂は、廻り蓮を通し新たな魂が生まれる。

お経の教えでは、人はそれぞれが特別な存在で仏の心を持ち人々を幸せにする、の
ような内容らしいです

サイズ:A3(450×300)

価格:15万5千円

美術評論とともに観る美術展出展作品



作品

【ヒマワリ】



向日葵の絵を観た時に自分の中からふと湧き上がる衝動、エネルギーを記憶。

内からあふれ出るエネルギーを表現。

この気持ちは、言葉では言い表しづらい。

サイズ:A3(450×300)

価格:25万

広島県の展示会出展作品

目標

アートで人間性を育む！！

【必要な事】

・画家業の確立

認知・価値提供・販売の流れを作る所で自作HPを立ち上げ“認知”に向け役立つような情報を発信中。
ファンを獲得することを目指す。また、協力者をや考えに賛同頂ける人や組織を募り活動の質を向上させる。

・アトリエ設立

絵画教室を開き絵の描き方だけではなく人間性を育み自分自身を確立させられるような活動を運営したい。

・オンラインシステム

物理的要素に影響されず通信技術を使って価値ある情報を提供する。
WEBスクール、作品等の販売など

・アートチーム

社会に影響を与えられる組織を作る。
⇒アートを通じた社会貢献。

現状と課題

【現状】

①認知

HPとSNSにて、情報を発信しており反応としてはブログへのコメント、アート関連企業からの企画展案内がある。

②価値提供

HPのブログにて有益となり得る情報を発信している

③販売

過去に企画展や個人的な関わりのある人に数点程の原画販売

【課題】

①認知

数年前に諸事情で画家活動ができずあらゆる取り組みが停止していた。2024年度から再開。

活動方針などの画家業としての方向性(最終目標)を十分に広げられていない。

過去に口頭で同業者に話す機会、SNSの投稿で概要を乗せた際に興味を抱かれた方は複数いたので

PRの方法が不十分であると考え(一番重要な要素だと認識)。

②価値提供

メールマガジンができればと考えてはいるが実績(定期的な作品販売や画家業の運営など決定的な成果)がないので発信するにしても

まだ弱い為モヤモヤしている。

③販売

企画展が中心であった為、個人専用の販売ルートがない状態。

ファン獲得など顧客枠がない。

販売サイトを制作し運営はしてみても良いかなとは頭の隅で考えている。

④その他 今まで抽象表現のみだった為、写実描写を身に着けている。

事業方針

【アトリエ】

①絵画教室→絵の描き方指導、自律性育成、WEB上の活動方法、販売等、画家業に必要な知識と技術、人間性向上プログラム等を教示・発信するサービス。

②オンライン→WEBスクール、作品販売サイトの運営



【必要な事】

- ・画家認知の拡大(作品、活動方針など)
- ・事業立ち上げと運営が出来る程の経済的安定
- ・協賛者の募り(仲間、合同企業など)

と考えております。

最後に

応援してくれる方、企業や作家さん等を巻き込み
ワクワクできるような取り組みを生み出していきたいです。

私はアートに救われ今にいたります。

同じように悩んでいる方や何かに歩みたい人など
アートを通じてプラスになるような提供をしていきたいと考えています。

最後まで読んで頂きありがとうございます。
よろしくお願ひ致します。